

日本顕微鏡学会会報

2006
No.3

社団法人 日本顕微鏡学会

■2006年11月30日発行

■〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6
大塚三丁目ビル
リアライズ AT 株式会社

■TEL: 03-5940-7290 ■FAX: 03-5940-7980
■E-mail: kenbikyo@realize-at.jp
■URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsm>

◇年会費の口座自動引き落としのご案内

日本顕微鏡学会では、年会費のお支払いに銀行口座からの自動引き落としをご利用いただけます。自動引き落としをお申し込いただければ、お振込みがスムーズに終了いたします。

学会事務局にご連絡下さい。必要書類をお送りいたします。

問合せ先:

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6 大塚三丁目ビル
(社) 日本顕微鏡学会 事務局
TEL: 03-5940-7640 FAX: 03-5940-7980
E-mail: kenbikyo@realize-at.jp

◇第63回学術講演会

標記講演会が下記要領にて開催されます。多数ご参加ください。よろしくお願いいたします。

会期: 2007年5月20日(土) - 22日(火)
会場: 朱鷺メッセ (新潟コンベンションセンター)
(新潟市万代島6番1号)

学術講演テーマ: 「多様化する顕微鏡技術
— 原子識別からバイオ組織イメージングまで —」

問合せ先: 〒951-8510 新潟市旭町通 1-757
新潟大学大学院医歯学総合研究科・顕微解剖学分野細胞機能講座 牛木辰男
E-mail: t-ushiki@med.niigata-u.ac.jp
URL: <http://www.jsm2007.com>

◇第18回電子顕微鏡大学について

日本顕微鏡学会は材料研究に従事する研究者や技術者や初心者を対象に電子顕微鏡の基礎技術についてのセミナー「電子顕微鏡大学」を企画しています。電子顕微鏡の予備知識がなくても受講できる、平易でしかも実際に役立つ講義内容が特徴です。

受講希望及び詳細については E-mail・FAX・葉書で下記までご連絡ください。プログラム等詳細は別途お知らせします。

会期: 2007年4月20日(金)・21日(土)

会場: 東京工業大学 デジタル多目的ホール
(東京都目黒区)

連絡先: 〒060-6826 札幌市北区北 13 条西 8 丁目
北海道大学エネルギー先端工学研究センター
電顕大学事務局
E-mail: dendai@ufml.caret.hokudai.ac.jp

◇平成19年度分科会・研究部会公募の案内

申請用紙の請求、手続の詳細などは学会事務局へご連絡ください。募集の締切は2007年1月12日までです。

◇永年会員について

正会員歴30年以上でかつ満65歳以上の会員は5年分の会費を一括前納することにより永年会員となることができます(永年会員: 終生正会員の資格を保有)。永年会員の申請については下記事務局宛にお問い合わせください。

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6 大塚三丁目ビル
(社) 日本顕微鏡学会 事務局
TEL: 03-5940-7640 FAX: 03-5940-7980
E-mail: kenbikyo@realize-at.jp

◇シニア会員について

平成18年度よりシニア会員制度が発足いたしました。本制度では、満60歳以上で、かつ常勤職(フルタイム職)を持たない正会員が、本人からの申請によりシニア会員となることができます。シニア会員は正会員の資格を保有しますが、年会費が6,000円に減額されます。本年度につきましても、4月1日に遡って受け付けますので、ご希望につきましては、下記事務局宛にお問い合わせください。

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6 大塚三丁目ビル
(社) 日本顕微鏡学会 事務局
TEL: 03-5940-7640 FAX: 03-5940-7980
E-mail: kenbikyo@realize-at.jp

◇関係学協会のお知らせ

1) 平成18年度 材料科学基礎講座

「電子プローブを用いた観測・分析技術」

主催：日本材料科学会

日時：平成18年11月24日（金）9：20～16：30

会場：青山学院大学

総合研究所ビルディング11F 第19会議室

問合せ先：〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

成蹊大学理工学部エレクトロメカニクス学科

齋藤洋司

TEL: 0422-37-3725 FAX: 0422-37-3871

E-mail: yoji@st.seikei.ac.jp

申込先：〒102-0081 東京都千代田区四番町8-1

(株) 裳華房内 日本材料科学会

材料科学基礎講座係

TEL: 03-3262-9166 FAX: 03-3262-7257

E-mail: mssj@shokabo.co.jp

2) 薄膜・表面物理分科会特別研究会

「走査型プローブ顕微鏡(20)」

主催：(社) 応用物理学会

日時：平成18年12月7日～12月9日午前

会場：熱川ハイツ

講演申込・問合せ先：

〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学物理工学系 重川秀実

TEL & FAX: 029-853-5276

E-mail: hidemi@ims.tsukuba.ac.jp

参加申込・問合せ先：

応用物理学会薄膜・表面物理分科会 伊丹文子

E-mail: division@jsap.or.jp

URL: <http://dora.ims.tsukuba.ac.jp/event/ICSPM14/>

3) 2006年度第6回東北大学多元物質科学研究所

研究発表会

主催：東北大学多元物質科学研究所

日時：平成18年12月8日（金）13：00～

会場：東北大学片平さくらホール

問合せ先：東北大学多元物質科学研究所 佐藤俊一

TEL: 022-217-5160 FAX: 022-217-5145

E-mail: sato@tagen.tohoku.ac.jp

4) 表面科学技術研究会—表面処理を支える先端分析計測—

主催：日本表面科学会関西支部&表面技術協会関西支部

日時：平成19年1月26日（金）13：00～17：30

会場：神戸大学瀧川記念学術交流会館

問合せ先：〒632-8567 奈良県天理市樺本町2613-1

シャープ株式会社 技術本部 基盤技術研究所

村上善照

TEL: 0743-65-0454 FAX: 0743-65-0543

E-mail: murakami.yoshiteru@sharp.co.jp

ONLINE 申込：

<http://www.sssj.org/Kansai/goudou070126.html>

5) New Diamond and nano Carbons (NDNC2007)

主催：NDNC2007 実行委員会

日時：2007年5月28日～31日

会場：千里ライフサイエンスセンター

問合せ先：NDNC2007 事務局：

日本コンベンションサービス内事務局

担当：千々松（ちぢまつ）

〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関1-4-2

TEL: 03-3508-1213 FAX: 03-3508-0820

6) 第5回アクアポリン国際会議

主催：第5回アクアポリン国際会議組織委員会

日時：2007年7月13日（金）～16日（月）

会場：なら100年館

問合せ先：第5回アクアポリン国際会議事務局

東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル

(株) コングレ内

TEL: 03-5216-5318 FAX: 03-5216-5552

E-mail: aqp2007@congre.co.jp

URL: <http://www.congre.co.jp/aqp2007/>

7) 第2回回折構造生物国際シンポジウム2007

主催：日本学術振興会回折構造生物第169委員会

日時：平成19年9月10日～13日

会場：タワーホール船堀

問合せ先：〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学工学研究科 化学・生物工学専攻

教授 山根 隆

E-mail: yamane@nubio.nagoya-u.ac.jp

TEL: 052-789-3339 FAX: 052-789-3218

8) 研究助成金「風戸研究奨励金」募集

応募締切日：平成18年12月末日応募締め切り

問合せ先：財団法人 風戸研究奨励会 事務局 浜中 巖

〒196-8558 東京都昭島市武蔵野3-1-2

日本電子株式会社内

TEL: 042-542-2106 FAX: 042-546-9732

◇平成18年度第1回理事会議事要旨

日時：平成18年7月22日（土）

14：00～17：00（理事会）

会場：八重洲ホール（東京都中央区）

出席者：理事：山科正平、弘津禎彦、大谷 修、川上速人、平山 司、松井良夫、柿林博司、上野武夫、関口隆史、高井義造、永山國昭、福島球琳男、荒川圭太（藤川清三理事兼北海道支部長代理）

欧文誌編集委員長：市野瀬英喜

和文誌編集委員長：菅沼龍夫

監事：下山 宏、依藤 宏

第62回学術講演会実行委員長：澤田 元

第 63 回学術講演会実行委員長：牛木辰男
支部長：大野伸一（関東）、磯田正二（関西）、加藤征治（九州）
日本臨床電子顕微鏡学会理事：大槻勝紀
IMC16 事務局：古屋一夫、大貫惣明

【報告】

1. 庶務報告
平成 17 年度第 5 回以降の会務報告が行われた。
2. 会計報告
平成 18 年 6 月 30 日現在の会計状況が配布資料に基づき報告された。
3. 欧文誌編集委員会報告
欧文誌編集進捗状況について報告された。
4. 和文誌編集委員会報告
和文誌編集進捗状況について報告された。
5. 第 17 回サマースクール準備状況報告
開催予定のサマースクールの準備状況について報告された。
6. 第 62 回学術講演会開催報告
収支状況についての中間報告があった。
7. 第 63 回学術講演会準備状況報告
現状での準備状況について報告された。
8. 各支部報告
北海道、関東、関西、九州の各支部より活動状況について報告された。
9. 平成 18 年度研究部会・分科会の件
研究部会・分科会の状況について報告された。
10. IMC16 の件
 - a. IMC16 の準備状況について報告された。
 - b. IFSM 総会への出席者について、山科会長、弘津副会長、古屋 IMC16 事務局長、平山常務理事の 4 名が出席することで、承認された。
11. 第 17 回電頭大学の件
本年度の電頭大学について報告された。
12. その他
第 1 回電子顕微鏡最重要技術検討会について報告された
IMC16 の会議スケジュールについて確認された。
シニア会員の申込および告知状況について報告された。
少量核燃料物質の安全管理用マニュアルについて案が策定されたことについて報告された。

【議題】

1. 第 64 回学術講演会の件
第 64 回学術講演会の開催地について、常務理事会で議論された旨報告があり、検討を進めていくことが承認された。
2. 第 18 回サマースクールの件
第 18 回サマースクールの開催地について、常務理事会で議論された旨報告があり、検討を進めていくことが承認された。

た。

3. 第 51 回シンポジウムの件

第 51 回シンポジウムについて、常務理事会で議論された旨報告があり、検討を進めていくことが承認された。

4. H19-20 役員選挙の件

H19-20 役員選挙の今後のスケジュールについて承認された。

5. 各賞選考の件

本年度の各賞推薦について報告があり、承認された。

6. 入退会の件

- a. 2006 年 5 月～6 月の会員異動について報告が行われ、承認された。

	入会	退会
正会員	8	3
学生会員	1	1
賛助会員	1	

- b. 堀内繁雄会員（会員番号 0293143911）より正会員から永年会員への変更希望があり、承認された。

7. 協賛・後援依頼の件

4 件について協賛等を承認した。

8. その他

- a. 学術講演会、サマースクール、シンポジウムの開催地決定方法について、公募を受け付けるとの提案があり、承認された。来年度以降でどのように公募を行うかについては継続審議となった。
- b. 18 年総会で承認された定款変更案の状況について説明があり承認された。
- c. 支部割当金について
継続審議となっている支部割当金の取り扱いについて、前回の資料をもとに説明があり、常務理事会による案を提示することになった。
- d. 来年度は日本顕微鏡学会名簿を作成することが承認された。
- e. Cowley メダルの受賞候補者について、日本顕微鏡学会より飯島名誉会員を推薦することで承認された。
- f. 学会誌の在庫処分については、常務理事に一任することとし、内規に従って対応することで承認された。
- g. 源泉徴収の取り扱いについては、各事業毎に個別対応することで承認された。
- h. 学術講演会の開催後には、次回に向けた申し送り事項の作製を定例化することにより、学会としての事業運営のノウハウを蓄積していくことで承認された。
- i. 「科学・技術の発展のための知覚情報取得技術の強化に関する検討分科会」について、学術会議からの要請事項について説明があり、今後の対応については「電子顕微鏡最重要技術検討会」にて検討することが承認された。

『夢をかなえる最先端の顕微鏡テクノロジー』

日 時：2007年3月17日（土）会 場：東京工業大学・大岡山キャンパス
 講演会 9：20～17：50懇親会 18：00～19：30

9：20～12：00 午前 パラレルセッション

【材料系 A】	【生物系 B】	【生物系 C】
<p>『機器開発の最前線』 「走査電子顕微鏡法を中心とした材料解析事例」 SII・ナノテクノロジー 立花繁明 「球面収差補正 STEM を用いた原子分解能分析」 日本電子（株）奥西栄治 「収差補正（S）TEM における観察条件の重要性」 FEI 伊野家浩司 「構造と組成の三次元観察法とその応用」 （株）日立ハイテクノロジー 矢口紀恵</p> <p>『定量分析法の最前線』 「画像処理による球面収差補正および顕微鏡像定量分析」 （有）HREM 石塚和夫 「電子回折による精密構造解析」 東北大学 津田健治 「EELS による原子・電子構造定量解析」 東京大学 溝口照康</p>	<p>『凍結技法を極める！』 ーどうすればうまくいく？ 「浸漬法による微生物の急速凍結固定」 東京大学 平田愛子 「金属圧着による急速凍結法とその実践」 東京大学 片山栄作 「加圧凍結技法 ー私の工夫ー」 （株）日立ハイテクノロジー 北 重夫 「生体内凍結技法の基礎と応用」 山梨大学 寺田信生 「無固定凍結試料の超薄切片作製法とその応用」 神奈川大学 鈴木季直</p>	<p>『免疫電顕を極める！』 ーこうすればうまくいく！ 「免疫電顕法の概要」 東京慈恵会医科大学 立花利公 「包埋前染色法」 北里大学 勝又 修 「包埋後染色法」 慶応義塾大学 山下修二 「免疫 SEM 法」 東京都臨床医学総合研究所 鈴木英紀 「酵母の免疫電顕」 基礎生物学研究所 馬場美鈴 「植物組織の免疫電顕」 東京慈恵会医科大学 平塚理恵 「動物組織の免疫電顕」 日本医科大学 瀧澤俊広</p>

12：10～13：10 支部評議委員会・総会 【同時開催：各メーカー展示会】
 13：10～13：50 一般演題【ポスターセッション、ただ今募集中（2007.1.27.まで）】
 14：00～17：50 午後 特別講演・共通セッション

特別講演 『高分解能の極限に挑む』

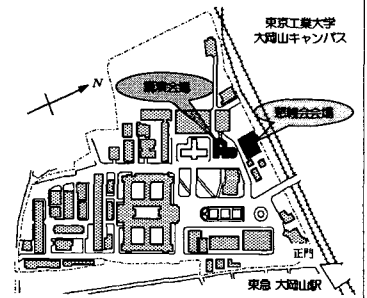
「プラズモニック・ナノ顕微鏡：光と電子と力の新たな融合」
 大阪大学 河田 聡
 「50pm 超高分解能電子顕微鏡」
 東京工業大学 高柳邦夫

共通セッション 『最新技術を用いて得られる顕微鏡像』

「光断層撮影技術（OCT）について」
 北里大学 大林康二
 「無染色で生物試料を観察できるレーザーラマン顕微鏡」
 ナノフォトン（株） 大出孝博
 「クライオ SEM で見る神経組織」
 （独）理化学研究所 端川 勉
 「低温電子顕微鏡法による生体試料観察」
 京都大学 光岡 薫
 「毎秒 100 万コマの超高速ビデオ電子顕微鏡の開発を目指して」
 近畿大学 江藤剛治

講演会場：デジタル多目的ホール 他（大岡山キャンパス 西9号館）
 懇親会場：生協第一食堂 2階ホール
 講演会参加費： 会員・協賛学会会員 ￥3,500 非会員 ￥4,500
 学生 無料（受付にて学生証をご提示下さい 予稿集別途 ￥1,500）
 懇親会参加費： 会員・非会員共 ￥3,000 学生 ￥1,000
 アクセス：

JR 山手線 目黒駅 乗換 東急目黒線 大岡山駅下車 徒歩 5分
 JR 京浜東北線 大井町駅 乗換 東急大井町線 大岡山駅下車 徒歩 5分



主 催：日本顕微鏡学会・関東支部会

協 賛：日本金属学会，日本組織細胞化学会，日本臨床分子形態学会

詳細および一般演題（ポスターセッション）募集については日本顕微鏡学会のホームページ・支部活動・第31回関東支部講演会をご覧ください。